



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

ソロモン諸島

— 2017年度 地域巡回機能回復等支援事業—

(終了時評価-2018年4月)

事業概要

国名	ソロモン諸島
プロジェクト名	2017年度 FDAPIN VIプロジェクト
実施期間	2017年6月15日(覚書署名)～2018年3月31日
相手国政府覚書署名省庁名及び実施機関	覚書署名省庁： 漁業海洋資源省 (MFMR (Ministry of Fisheries and Marine Resources)) 実施機関： 漁業海洋資源省

プロジェクト実施の経緯と背景

ソロモン諸島(以下「ソロモン」という。)政府漁業海洋資源省(Ministry of Fisheries and Marine Resources: 以下「MFMR」という。)は、「2014-2018年実施計画書(MFMR Corporate Plan 2014-2018)」において、市場や輸送手段及び施設等の改善を通じた地域漁業への支援を最優先事項として掲げている。

このような計画の下、MFMRは各種の漁業振興計画を実施しているが、同国の水産関連施設は老朽化に伴う故障や運営管理の不備により、本来の機能を発揮することができず、漁業振興計画の推進に大きな支障を来している。

このため、ソロモン政府は、公益財団法人海外漁業協力財団(以下「財団」という。)に対し、水産関連施設等の修理・修復及び現地技術



者への技術移転並びに関連組織への指導・助言についての要請を行った。

財団は我が国とソロモンとの漁業関係の重要性を踏まえ、同国政府の漁業振興策を支援するため、本プロジェクトを実施した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産性が向上し、小規模漁業が発展する
プロジェクト目標	1. 水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上 2. 水産関連施設の管理・運営の改善及び活性化・自立化の促進
成 果	① ギゾ漁業センターの修理・修復及び技術指導 ギゾ漁業センター製氷機の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。 ② マラウ漁業センターの修理・修復及び技術指導 マラウ漁業センター製氷機(不稼働期間:2013年9月～現在)の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。
活 動	① ギゾ漁業センターの修理・修復及び技術指導 製氷機の換装を行い、ギゾ漁業センター製氷施設を修理・修復した。また、カウンターパートに対し修理・修復及びメンテナンス等に係る技術指導を行い、機器の運転ログ記入用紙の記入方法、工具・備品のリスト作成等についても指導を行った。 ② マラウ漁業センターの修理・修復及び技術指導 発電機及び製氷機を換装し、マラウ漁業センターを修理・修復した。また、カウンターパートに対し修理・修復及びメンテナンス等に係る技術指導を行い、機器の運転ログ記入用紙の記入方法、工具・備品のリスト作成等についても指導を行った。
投 入	財団側 ・ 専門家： 計画 第1回巡回指導：チームリーダー、冷凍機器・漁船機関専門家、冷凍機器専門家、冷凍機器技術者 2018年2月下旬～3月中旬(30日) 実績 第1回巡回指導：チームリーダー、冷凍機器・漁船機関専門家、冷凍機器専門家、冷凍機器技術者 2018年2月28日～3月28日(29日) 延日数 計画：(120人・日) 実績：(116人・日) (計画対比：97%) ・ 主な資機材： ブロック型製氷機、発電機、工具、部品 ・ 事業費： 予算額 24,458千円

	<p>実績額 24,462 千円 (予算対比 : 100%)</p> <p>相手国側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主なカウンターパート : <ul style="list-style-type: none"> ① ギゾ漁業センターの修理・修復及び技術指導 Engineer, Principal Fisheries Officer, Provincial Fisheries Division, MFMR Operator, Assistant Fisheries Office of Western Province (2018年3月13日～2018年3月16日) ② マラウ漁業センターの修理・修復及び技術指導 Engineer, Principal Fisheries Officer, Provincial Fisheries Division, MFMR Center manager & Operator, Principal Fisheries Officer, Provincial Fisheries Division, MFMR (2018年3月19日～2018年3月22日) ・プロジェクト関連予算、土地、施設等 MFMR 事務室、電気・水道の無償使用、船外機付きボートの提供等
--	---

評価事項

◆ 妥当性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

プロジェクトは、ソロモン政府の「2014-2018年実施計画書」等に基づく漁業振興策に合致しており、妥当と認められる。

2. 協力ニーズ(対象国、対象地域)との整合性

ソロモン政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言を要請されており、事前調査においてギゾ漁業センター及びマラウ漁業センターの修理・修復並びに技術指導に対する指導・助言に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、冷媒、廃棄部品等の扱いについては、適切な回収装置を用いるなど、常に環境保全に配慮している。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図るものであり、その結果、間接的に引き縄、手釣り漁業を行う地域零細漁業者の漁業活動が活発になることが想定されるが、漁獲圧は高くなく周辺水域の水産資源に対する負荷は極めて限定的である。

5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められてとおりに実行されたか等）

特になし。

◆ 効率性

1. 事業費及び実施期間

事業費はほぼ予算額内に収まった。資機材の通関に予定より時間を要したため、適宜スケジュールの見直しを行い、計画されていたプロジェクト活動を年度内にすべて完了した。（予算及び計画対比：事業費 100%、実施期間 97%）

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

資機材の通関に予定より時間を要したが、適宜スケジュールの見直しを行い、計画されていたプロジェクト活動を年度内にすべて完了し、専門家及び資機材はそれぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

上記1.のとおり、事業の実施がずれ込んだが、適宜スケジュールの見直しを行い年度内に事業を完了させた。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

MFMR カウンターパート（製氷機担当初級技術者）は本年度財団が実施した製氷・冷凍機講習会に参加し、技術レベルが向上したことからプロジェクトの効率性が一層高まった。

◆ 有効性

1. プロジェクト目標の達成度

1) プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標1：水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指

導によりカウンターパートの基礎知識及び技術レベルは益々向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

プロジェクト目標：2. 水産関連施設の管理・運営の改善及び活性化・自立化の促進

ギゾ漁業センター及びマラウ漁業センターのオペレーターに対し、機器の運転ログ記入用紙の記入方法、工具・備品のリスト作成について指導した結果、施設の運営管理手法の改善が行われ、プロジェクトの目標は達成された。

2) その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

(1) ギゾ漁業センターの修理・修復及び技術指導

<期待された成果>

ギゾ漁業センター製氷機の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

施設の修理・修復を行い、MFMR のカウンターパート及び製氷機オペレーターに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。

(2) マラウ漁業センター製氷施設の修理・修復及び技術指導

マラウ漁業センターの修理・修復及び技術指導。

<期待された成果>

マラウ漁業センター製氷機(不稼働期間：2013年9月～現在)の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

施設の修理・修復を行い、MFMR のカウンターパート及び製氷機オペレーターに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。

◆ インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷施設の修理・修復に関する水産局のカウンターパート及び製氷機のオペレーターの技術が向上するとともに、漁業センターの氷販売担当者の施設管理・運営能力が高まったことから、プロジェクト目標は達成された。

今後、製氷施設が順調に稼働すれば、上位目標である修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産の増加、小規模漁業の発展の達成に一定の効果を及ぼすとともに、ソロモン政府が策定した「2014-2018年実施計画書」等に掲げる「市場や輸送手段及び施設等の改善」の達成にも寄与する。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷施設が稼働し、周辺漁民に氷が円滑に供給されるようになった。今後、製氷施設が順調に稼働すれば、漁獲物の鮮度が保たれ魚価が上がり、漁民の所得が向上することから、対象地域の経済に対する直接的な効果を及ぼす。

また、氷は地域住民にも供給されることから、民生向上に寄与し、対象地域の社会・経済に対する直接的な効果が見込まれる。

3. その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等）

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは水産局の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設の管理を担当する予定である。

供与された資機材は、製氷施設の稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより施設の機能が強化され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、施設の機械に異常が発生した際には、MFMRのメカニックが州政府の予算で修理のために現地に出張するシステムがある。従って、本プロジェクト終了後

も、この効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）
特になし。

以上